

かみむら物語

コラム5.「江留上の現在・未来」

前回、継体天皇の治水事業により、福井平野が水田広がる豊かな土地に変わっていったことを説明しました。そのおかげもあって、江留上は水田囲まれた農村地帯になり、明治～昭和時代の織物産業の発展を期に、人口が急増し住宅地・商業地に変貌しました。

今回は、少し先の江留上の未来について考えてみましょう。近年、江留上は公共の施設・公園も近く、大型の商業施設の出店が相次いでいて、住環境に恵まれていることから住宅新築の人気地区となり、新しく江留上の住人になる若い世帯も増えてきました。

このことから町の風景にちょっとした変化が表れてきました。通勤・通学・ウォーキング・買い物に向かう歩行者・ペットとの散歩など人流の増加や、ガーデニング・家庭菜園などを行う家庭の増加です。この流れに乗ろう、応援し、まちづくりに生かそうと、江留上まちづくり協議会ではガーデニング・ウォーキング関連の活動を行っています。具体的には5月実施の『お庭散策とウォーキング』やガーデニング講座やハーブ料理講座といった江留上コミセンの講座との連携です。きっかけは、ウォーキング愛



好家自宅の前のガーデニングを行っている方との立ち話です。ウォーキングをしながら、お友達の家の花壇を見学するのだそうです。

住宅前のガーデニングをすることによって（プランターを並べお花を植える程度で十分です）、ウォーキングする人との交流が生まれる。さらに、多くの方がガーデニングに参加する。景観と治安が向上し、商店や住宅がさらに増えるような、住みたいくなる江留上を

目指すのが目標になります。そんな簡単にできるのか？という話になるのですが、成人がウォーキングを週1～2回行うとして、奨励される歩行距離は5km程度だそうです。この距離で10件程度ガーデニングをされている住宅があるとすると、歩いている方は満足するのだそうです。住宅1件あたりの道路間口平均が20m程度とすると、4パーセント程度の住宅がガーデニングに参加されると目に見える活動になります。ある程度住宅や商店が連続し、都会に比べると敷地に余裕がある江留上に向けた活動に思えます。しかし、この活動は少人数で行っても広がりません。そこで、ガーデニングに興味がある方を対象に、クラブを作りたいと思っています。勉強会や情報交換、花苗の交換・販売など。江留上区域外の方も参加できます。ぜひ、ご参加くださいますよう、よろしくおねがいます。クラブ募集に関しては、詳細が決まりしだい、ご案内したいと思います。

今回の『お庭散策とウォーキング』に際しましては、多くの御家庭にご協力、ご支援、助言を頂きました。この場をかりてお礼申し上げます。ありがとうございました。当日の様子は、まち協のFacebookで見ることが出来ます。右のQRコードからご覧ください。

